

## 八積駅北側開発について

北側開発と同時に駅を橋上駅化し、そこに小さな医院向けの店舗形式ブースを複数設ける。

ここに内科・小児科・耳鼻科・眼科など、住民生活に密着した診療科目の個人医院を誘致し、低価格な家賃で貸し出す。

これを私は「八積メディカルステーション」と呼んでいる。

### 【想定できるメリット】

1. 城ノ内開発地への大型病院の誘致は難しいが、こちらはより現実的な手法である
2. 橋上駅上の複数医院と提携した保育・託児施設を併設することで、事実上の病児保育が可能となる
3. 駅から徒歩0分、雨に濡れずにいける医院は必ず他地域からも人が集まる。これにより昇降客は増加し、八積駅に快速電車を停車させるための JR との交渉が楽になることが予想される。
4. 北側駅前開発で予定されるであろう宅地の地価が上昇し、固定資産税の増収が期待できる
5. 医療事業所が複数集まることで村税の増収が見込める
6. 村有地を医師に低価格で貸し出し、または販売することで定住化を促進すれば、医師個人からの固定資産税、所得税の大幅な増収が見込める

### 【資金】

ブースの一つに役場出張所を設けて各種証明書発行などの住民サービスをおこなうことで、PFI による開発の可能性も見えてくる。これにより村の出費は最小限に抑えられる。

ホーム全体を覆う形で建物を造れば村長公約である「八積駅に屋根を」も果たせるばかりか、「金を生む屋根」ができあがる。村民のためには借金をしてでもおこなうべきだと考えるが、執行部の見解を伺います。